

さいわい通信

第14号

2026年9月1日
(株)さいわい企画
編集 クリスチャン・
セレモニークラブ
(C・C・C)事務局
052-893-732

おじいちゃんの思い出

～ふたりのかわいい孫からのメッセージ～

2025年12月

故 鈴木健之牧師

孫多那瀬周様
孫神原路加様
名古屋福音自由教会

僕たちに
とっておじ
いちゃん
いつも優し
く、私たち
を温かく見
守ってくれ
る、まるで
太陽のよう
な存在でし
た。

小さい頃は「痛いよ!」と
言っすぐに手を引つ込めて
しまっていました。今思え
ば、その手の痛みこそが、言
葉では伝えられないおじい
ちゃんの深い愛情そのものだ
のだと感じます。

記憶にある限り、怒られたの
はたった一度だけです。それ
は、おじいちゃんが楽しみに
していた大河ドラマの最中、
僕が別の番組を見たことで勝
手にチャンネルを変えてしま
った時でした。今となつては、
そんな些細な喧嘩も、懐かし
く温かい思い出です。

そんなおじいちゃんと思
い出の中で、一番に残って
いるのが「握手」です。

僕たちが会いに行くと、お
じいちゃんはいつも満面の笑
みで迎え、力強く握ってくれ
ました。いつ手を離せばいい

晩年、体調を崩してから、
その握力の強さは変わりま
せんでした。その掌から伝わ
る熱と力強さに、僕は「頑張
れ」と背中を押されているよ
うで、何度も勇気づけられま
した。

もう二度と、あの力強い手
を握り返せないと思うと、寂
しきでいっぱいになります。

しかし、おじいちゃんがそ
の手を通して伝えてくれた
「強さ」と「優しさ」は、確
かに僕たちの心に残って
います。

これからは、おじいちゃん



が注いでくれた愛情を胸に、
僕たち孫一同、それぞれの場
所でしっかりと生きていきま
す。どうか天国から、いつも
のような優しい笑顔で、僕
たちのことを見守っていて
ください。おじいちゃん、本
当にありがとうございます。
(多那瀬周)



「おじいちゃん、可愛い孫
が来たよ」
それが、物心ついた時から私
が祖父と会う時のお決まりの
挨拶でした。

「路加は可愛いね、素晴らし
いね、神様に愛されて満たさ
れているね」

祖父はいつもそう言っ、私
の手を力強く握りながら、私
がどれほど主に恵まれている
のかを一緒に数えてくれまし
た。

私はいつも「うん」「もち
ろん」「そうですよ」と、
大きくうなずいて、祖父と一

緒に、私に与えられた主の恵
みを反芻したものです。

◇

私の中にある祖父の記憶は
そのようなものばかりで、今
回、祖父との思い出話を引
き受けたものの、いざ思い
起せば、私を励ます祖父
しか思い浮かばず、私はど
うしようかと途方に暮れま
した。そんな私に父は、
「おじいちゃんは人を褒め
るのが上手で、いつもたくさ
んの人に声をかけていたね」
と振り返りました。

◇

初対面の人に神様のことを
伝えて、教会でもたくさん
の人と関わりを持つ。そんな祖父
の人生の中心には、いつも主
イエス・キリストがいました。
第二テモテへの手紙第四章二
節「みことばを宣べ伝えなさ
い。時が良くて悪くても、
しっかりとやりなさい」

長年、牧師として主に仕え
た祖父の人生は、まさにこ
のみことばだったと思いま
す。

私のクリスチャン人生で
は、祖父のことを知ってい
るという人にしばしば出会
いました。

「ああ、あの鈴木先生の」
と言われるたび、私はちょ
っと誇らしくなって、「はい」
と答えたものでした。
私にとって祖父は、講壇

に立つ姿が自慢の優しいおじ
いちゃんであると同時に、
教会関係の方との会話を通し
また、祖父本人と顔を合わせ
るたびに、(私も信仰にたっ
て励もう)と背筋がしゃんと
伸びる存在でした。

「路加なら大丈夫、神様が
すべてよくしてくださる。主
の恵みが路加と共にある」そ
んな祖父の励ましの声が、手
のひらの熱が、わたしには深
く深く刻まれています。祖父
は私にとって、信仰に固く立
つ大木のようにありました。

◇
一昨日祖父の家に到着し、
いつも通り口をついて出た
「おじいちゃん、可愛い孫が
来たよ」という言葉に、返事
はありませんでした。私は祖
父を見つめたまま泣きました。
祖父の姿はどれも穏やかで、
今にも起きてしゃべりだしそ
うです。それなのに、返事が
ないことが、眠っているのに

どんなに耳を澄ませても祖父
のいびきが聞えないことが、
かなしくたまりませんでした。
けれど、ひとしきり泣きな
がら、(なんで) (どうして)
と思うほど、祖父ならきくと
「路加、天国で待っているか
らね、また会えるからね」と
言うのだらうと、私はもう、
考えずともわかっていました。

『永遠の悲しい別れ』と
「死」を捉えるのではなく、
『いつときの別れ』と捉え、
天国での再会を確信できるこ
と。それこそが、祖父自身の
姿を通して、ずっと私にあら
わしてくれた主の恵みにほか
なりません。

私にとって祖父は優しいお
じいちゃん、どこまでも牧
師でした。悲しみに暮れるな
かでも、天国での再会を通し
て抱く希望。これこそが、祖
父が孫の私に二十三年かけて
伝えてくれた福音だと、私は

今確信しています。
天国で再会するときには私
はまた、いつものように「おじ
いちゃん、可愛い孫が来たよ」
と声をかけるつもりです。祖
父はきつと、私のこれからの
あゆみで降り注ぐ主の恵みを
一緒に数えてくれると思いま
す。(榊原路加)

今年も開催決定！

秋の生前相談会

10/10(土) 10:30~16:00
10/17(土) 13:30~16:00
10/24(土) 10:30~12:00

場所：金山クリスチャンセンター3F
(東海聖書神学塾内)

2Fはオアシス名古屋店です)

10/15(木) 13:30~17:30
10/27(火) 10:30~11:30

場所：名古屋市 徳重地区会館 集会室1
(緑区 ユメリア徳重3F
ヒルズワークの隣です)

予約するか分からないけど

話だけ聞きたい...という方も大歓迎♪

夫婦・親子だけでなく、

ご友人と一緒にでもいいですよ♪

詳細は、別添のチラシをご覧ください

LINE公式アカウント

はじめました！

友だち追加していただくと
生前相談会の予約もできます。



ちょっとした
問い合わせにも
ご活用ください♪



2026年1月

ご長女金子香美様
名古屋西福音自由教会

ラミング、蕎麦打ち、パン焼き、庭いじり、山菜取り。広く深く楽しんでいました。カメラは暗室で現像もしましたし、日曜大工では私の学習机やベッド、さらに釣りのために木のボートも作っていました。釣りから帰ってくるど新鮮なうちに鱗を取って、開いて、お刺身やフライを食べさせてくれました。生かして持ち帰った魚を水槽で飼っていたこともあります。

小学生の頃には「アマチュア無線の免許を取らんか?」としきりに勧めてきましたし、年頃になると、「結婚相手は釣りが好きな人で、海まで乗せて行ってくれる人がいい」などと言っていました。結果は残念ながらもでしたが、結婚してからは毎年旅行に連れて行ってくれました。

小学生の頃には「アマチュア無線の免許を取らんか?」としきりに勧めてきましたし、年頃になると、「結婚相手は釣りが好きな人で、海まで乗せて行ってくれる人がいい」などと言っていました。結果は残念ながらも、結婚してからは毎年旅行に連れて行ってくれました。

母に劣らず父も多趣味でした。旅行、カメラ、海釣り、アマチュア無線、日曜大工、機械いじり、プログ



間はなんとか持ち前の器用さで一人暮らしを続けました。しかし、背骨を圧迫骨折したのがきっかけで施設入所となりました。施設では訪問介護サービスやデイサービスの世話になりながら過ごしました。施設の方々には感謝し
かありません。

亡くなる三日前に面会室で話をしました。差し入れのプリンには、スプーンで口に運んでもあまり食べる気にならないようでした。その時「こういう物に温かさを感じるのよ」「プリンに、」
「そうだよ。あんたはやさしいなあ」「お父さんが私をこういう風に育てたんだよ」と話したことは忘れられませんか。

翌日に会った時はもう酸素マスクをつけ、それの回らない言葉で「水が欲しい。苦しい。足が痛い。」と繰り返すばかりでした。

父の期待に沿える子どもであつたかどうかはわかりませんが、育ててよかったと思つていてくれたらいいなど願うばかりです。

これまで、事あるごとに話を聞いたり、相談に乗ったり、助言し、祈つてくださった兄弟姉妹に心から感謝します。



『きみはとてみたいせつだよ！』

スー・ボックス 文
スー・ポール イラスト

おのくみこ 訳
ドン・ボスコ社

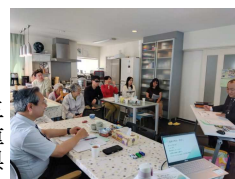
「神様は私のことどうやって作ったの？」
「特別って、どんなところが？」
「どうしておともだちは大切なの？」

こんな風にこどもに聞かれたら、どう返しますか？



をめくると、そこにはミラーシートがついていて大切なその子の顔が映り込み、自分に見えるようになっていたのです。素敵な仕掛けです。(藤田)

日本同盟基督教団
いこいのある教会
2026. 4. 12



くださり、歓迎のお心を感
じました。昼食会のお交わ
りでは近い年頃の教会員さ
んと、互いの愛車話で盛り
上がり、時間が足りなかつ
たくらいです。(藤田)

午前9時の礼拝から
ていただきますし

三重県 鈴鹿市にある、いのちの教会。

日本同盟基督教団
長良キリスト教会
2026. 5. 31



「変な」と聞いていいかしら
岐阜県の長良キリスト教
会のセミナーでは、「こんな
変な」と聞いていいかしら？」
を枕詞にして質問が。聞け
ば全然変なことではない、
素朴な質問だったり具体的
なお悩みだったり。「変なこ
と、いくらでもどつぞ」と
笑いも溢れて楽しいセミナ
ーになりました。セミナー後
予定していた個別相談が、
葬儀が入ってしまったのでき
なかつたのが残念でした。

葬儀セミナーの
ご依頼随時受付中

◆さいわい企画のもうすぐ二十周年。感謝と希望をつなぐ特別企画を考えたい。予算はなないのですが(涙)(杉)

◆カフェの駐車場に着いた途端にゲリラ豪雨

に遭遇しました。横殴りの雨と嵐のような強風に三十分ほど車から出られずにいました。嵐の中の平安を物理的に体験できた時でした。(山)

◆葬儀業界のビジネスフェアへ足を運びました。ギフトや棺等の定番から、新しいAI遺影写真や海洋散骨、ご遺骨ジュエリーに相続サポートなど様々目にしました。弊社も日々アップデートです。(藤)